

# 謹賀新年



旧年中はたいへんお世話になりました。  
おかげさまで、順調に活動をたちあげる中で、2回目の春を迎える  
ことができました。これからも試行錯誤ですが、どうか引き続きお力  
添えをお願い申し上げます

2004年1月 NPO地域づくり工房・スタッフ一同

## 今年が正念場

一昨年10月の活動開始から、はやくも2度目の新年を迎えました。くるくるエコプロジェクトや菜の花エコプロジェクトなどを順調にたちあげ、それなりに社会的な反響もあって、大町に新しい市民事業が芽生えたことをアピールできたのではないのでしょうか。会員や関係機関のみなさまのご助力あっての到達点と心から感謝申し上げます。

しかし、活動が始まりだしたときにはいろいろと注目もされますが、小水力発電では利水許可、バイオ軽油では安定的な消費の確保など、持続していくための課題はたくさんあります。私たちの力量が試される本当の正念場はこれからだと肝に銘じています。

## 私たちの「壁」は

第一に内なる壁です。私たちの市民活動が陥りやすい、無鉄砲さや経営力の不足、関係機関との対話不足などを改善しながら、事業を円滑にすすめる力をつけたいものです。

第二に外の壁です。私たちの前にたちだかる困難は、この日本や地域社会がかかえている問題でもあるということです。官僚中心で規制だらけの社会。効率ばかりを優先して浪費を惜しまない社会。2つのエコプロジェクトは一番難しい段階に挑戦します。

私たちが直面している内と外にある「壁」は、それに挑戦することが社会の質を変える

運動であると自覚し、それらを突破できる感性と知性とを磨いていきたいものです。

## 今年も学習を重視し

昨年度は、私たちの活動がめざしていることをわかりやすく、目に見えるように展開することを重視し、「公開実験」までこぎつけました。今年は、内と外の「壁」を乗り越えられる力を蓄えるために、昨年の活動からの教訓をしっかりと総括しながら、学習し、次の段階にすすんでいきたいと考えています。

## 働かせていただく喜び

昨年をふりかえると、このような活動で働かせていただいていることを感謝せずにいられません。少し前には考えられないような職業かもしれませんが、このような仕事を通じて、まわりの人びとに喜びをわかちあえるような社会の仕組みが広がっていくために、さらに奮闘したいと思います。ぜひ、引き続きご支援をお願い申し上げます。【傘木宏夫】

ボーナスカンパ

## ありがとうございました

12月19日までに寄せられた166,200円を4人のスタッフで均等割りして、冬のボーナス1ヶ月分(7万円)に41,550円を上乗せして支給させていただきました。スタッフ一同、心から感謝申し上げます。

## 住民自治による地域おこしを

～長野県住民と自治研究所(準)がシンポ～

県内で住民自治に関する研究や住民運動などの関係者により、今年3月をめざして「長野県住民と自治研究所」の設立準備がすすめられています。同準備会の代表世話人には、窪島誠一郎氏(信濃デッサン館)、高橋彦芳氏(栄村村長)、野口俊邦氏(信州大学教授)などが名を連ね、本会の傘木代表が事務局長をつとめています。

12月21日(土)、松本市中央公民館にて、同会主催でシンポジウム「これからの住民自治を考える～平成の大合併をのりこえる地域づくりをめざして～」が開催され、3町村の首長をはじめ約70名が参加しました。

「地位経済論からみた市町村合併と地域おこし」と題する基調講演で、京都大学教授の岡田知弘さんは、今回の強制合併が大都会中心の発想ですすめられていることを指摘しながら、長野県栄村など各地の山間地域を詳細に調査した結果を踏まえて、山間地域の小規模自治体ほど行政による地産地消などの地域おこし型の取り組みへの投資が地域経済に還流する(地域内再投資)の割合が高いことを示し、地域的な自立(自律)をめざす取り組みの重要性を強調されました。

このあと同会代表世話人らによるパネルディスカッションが、安井幸次さん(長野大学教授)の司会で行われ、高橋彦芳(栄村村長)は自立をめざした村行政の改革の取り組みを紹介し、それを受けて白戸洋さん(松本大学



教授)が地域おこしに向けた創意工夫ある取り組み事例とその特徴を紹介しました。合併への反対・賛成ではなく、どのように住民自治の力により地域おこしをすすめていくのかの視点から、有意義な議論となりました。

## なごやかに忘年会

12月17日(水)、恒例の「童謡唱歌のうたごえ喫茶・ドレミの泉」とあわせて、本会の忘年会を開催しました。会場の「テレビの泉」にいっぱいの人が集い、約40名が参加し、歌や語りいでたのしくすごしました。

「ドレミの泉」は今回で12回目となり、四季それぞれのテーマを設けながらすすめてきました。1年間の一巡をしたことから、今後の催し方などを再考し、再出発する方針を主宰の丸山好昭さんと相談しています。



### 市民活動のための アセスメント講座

同封のチラシのように、本会では環境事業団(環境省所管)の市民向け環境アセスメント講座の現地事務局を請け負っています。環境省の課長や学会長といった一流講師を得ての講座です。成功に向けて、ご参加やPRのご協力をお願い申し上げます。

NPO地域づくり工房・活動だより 14

発行責任者: 傘木宏夫(代表理事)  
〒398-0002 長野県大町市仁科町 3302  
Tel.&Fax.0261-22-7601 E-Mail.npo@omachi.org  
ホームページ <http://npo.omachi.org/>